

なんでも

世界一

好景な経済に沸く新興国の代表格ブラジルの商業の中心サンパウロでは、企業経営者やセレブたちの足としてヘリコプターの利用が急増している。南米一の人口1億000万人以上を擁する同市で民間が所有するヘリの数は450機を越え、米ニューヨークを抜いて世界一といわれる。

サンパウロ北郊のカンポデマルテ飛行場にあるエリマルテ社を6月末に訪ねると、1時間もしないうちに3機のヘリが次々と着陸してきた。同社は、富裕層向け「ヘリタクシー」が事業の柱だ。12機のヘリを保有し、企業幹部や株のタイラーなど金儲けや商談に追われる人々を、ビルからビルへ運ぶ。費用は、機種に

■ サンパウロの民間ヘリ (ブラジル)

応じて1時間1600レアル(約8万円)から9500レアル(約48万円)。近年のブラジル経済の発展に伴い、売り上げは伸びる一方という。

ジャルジ・ピタル社長(42)は「飛行回数は1日平均20回。需要は増え続けており、8月にはヘリをもう1機増やす」と強調した。同市のヘリの多さ

は、こうしたヘリタクシーの隆盛が主な要因だ。機種の異なる交通設備も豊富にある。今年5月現在のサンパウロの登録自動車台数は、前

富裕層向け「空のタクシー」



サンパウロのカンポデマルテ飛行場に着陸するエリマルテ社のヘリコプター



民間ヘリの登録数 ブラジル連邦民間航空庁によると、サンパウロ州全体で、警察・消防用などを除く民間ヘリの登録数(2010年)は593機。00年の401機から約1.5倍に増えた。地元紙ディアリオ・ド・コメルシオによると、このうちサンパウロ市での登録数は432機に上り、ニューヨーク市の445機を上回った。

年は3・3%増の約706万台。人口増加を上回るペースで増えている。一方で、道路の整備は不十分で、朝夕、車では通勤通勤者がとれなくなることも珍しくない。地下鉄など公共交通網の発達も遅れている。ヘリなら時間を節約できる上、富裕層にとって

は、強硬な誘拐の危険を避けられるメリットもある。だが、ヘリの増加は騒音問題も引き起こしている。同市ブタンタ地区の主婦、マリオン・ロウテンパークさん(63)は「近道をしようと、調理ルートをそれて我々の住宅の上を飛ぶヘリが増えすぎた。日曜の早朝に起こされることもある」と憤る。ビルの谷間を行き交うヘリの騒音は、無数の経済成長のみをみも象徴している。(サンパウロで 森砂雅一、写真も)

◇ 随時、掲載します。